

平成24年5月4日

統計トピックスNo. 59

我が国のこどもの数

—「こどもの日」にちなんで—

(「人口推計」から)

総務省統計局では、5月5日の「こどもの日」にちなんで、平成24年4月1日現在におけるこどもの数（15歳未満人口）を推計しました。

要 約

《全 国》

I-1 こどもの数は1665万人、31年連続の減少

I-2 こどもの割合は13.0%、38年連続の低下

《都道府県》

II-1 こどもの数は東京都及び福岡県では増加

II-2 こどもの割合は沖縄県が最も高く、

秋田県及び東京都が最も低い

「人口推計」では、国勢調査による人口を基礎に、その後の人口の動向を他の人口関連資料から得て、毎月1日現在の人口及びより詳細な毎年10月1日現在の人口を算出しています。この資料の人口は、平成24年4月1日現在について推計した人口（概算値）です。都道府県別人口については、平成23年10月1日現在の人口（確定値）です。

《全国》

I-1 こどもの数は1665万人、31年連続の減少

平成24年4月1日現在におけるこどもの数（15歳未満人口。以下同じ。）は、前年に比べ12万人少ない1665万人で、昭和57年から31年連続の減少となり、過去最低となりました。

男女別では、男子が852万人、女子が812万人となっており、男子が女子より40万人多く、女子100人に対する男子の数（人口性比）は104.9となっています。

（表1）

こどもの数を年齢3歳階級別にみると、12～14歳が357万人、9～11歳が347万人、6～8歳が325万人、3～5歳が321万人、0～2歳が316万人となっており、総人口に占める割合は、12～14歳が2.8%、9～11歳が2.7%、6～8歳が2.5%、3～5歳が2.5%、0～2歳が2.5%となっています。（表2、図1）

これを中学生の年代（12～14歳）、小学生の年代（6～11歳）、未就学の乳幼児（0～5歳）の三つの区分で見ると、それぞれ357万人（総人口の2.8%）、671万人（同5.3%）、637万人（同5.0%）となっています。（表2）

表1 男女別こどもの数

		平成24年 4月1日現在	平成23年 4月1日現在	対前年 増減数
こどもの 数 (万人)	男女計	1665	1677	-12
	男	852	859	-6
	女	812	818	-6
	人口性比	104.9	104.9	0.0
総人口 (万人)	男女計	12765	12771	-5
	男	6210	6216	-6
	女	6556	6555	1
	人口性比	94.7	94.8	-0.1
総人口に占める こどもの割合(%)		13.0	13.1	-0.1

注) 表中の数値は、単位未満を四捨五入しているため、合計の数値と内訳の計が一致しない場合があります（以下同じ）。

図1 年齢3歳階級別こどもの数
(平成24年4月1日現在)

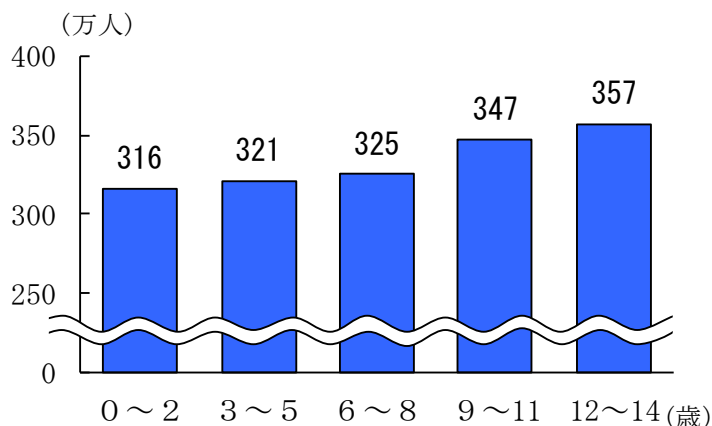


表2 男女、年齢3歳階級別こどもの数
(平成24年4月1日現在)

		こどもの 数	未就学の乳幼児(0～5歳)		小学生(6～11歳)		中学生 (12～14歳)	
			0～2歳	3～5歳	6～8歳	9～11歳		
人口 (万人)	男女計	1665	637	316	321	671	347	357
	男	852	326	162	164	344	178	183
	女	812	311	154	157	327	169	174
総人口に占める 割合(%)		13.0	5.0	2.5	2.5	5.3	2.7	2.8

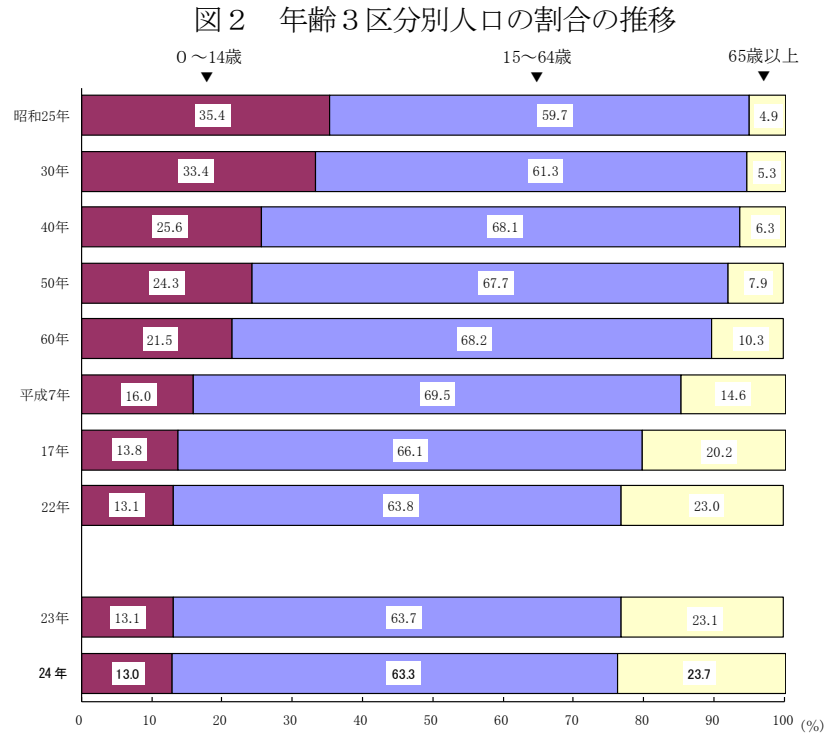
I-2 こどもの割合は13.0%、38年連続の低下

こどもの割合は、昭和25年には総人口の3分の1を超えていましたが、第1次ベビーブーム期（22年～24年）の後、出生児数の減少を反映して低下を続け、40年には総人口の約4分の1となりました。

その後、昭和40年代後半には第2次ベビーブーム期（46年～49年）の出生児数の増加によって僅かに上昇したものの、50年から再び低下を続け、平成9年には65歳以上人口の割合（15.7%）を下回って15.3%となり、24年は13.0%（前年比0.1ポイント低下）で過去最低となりました。

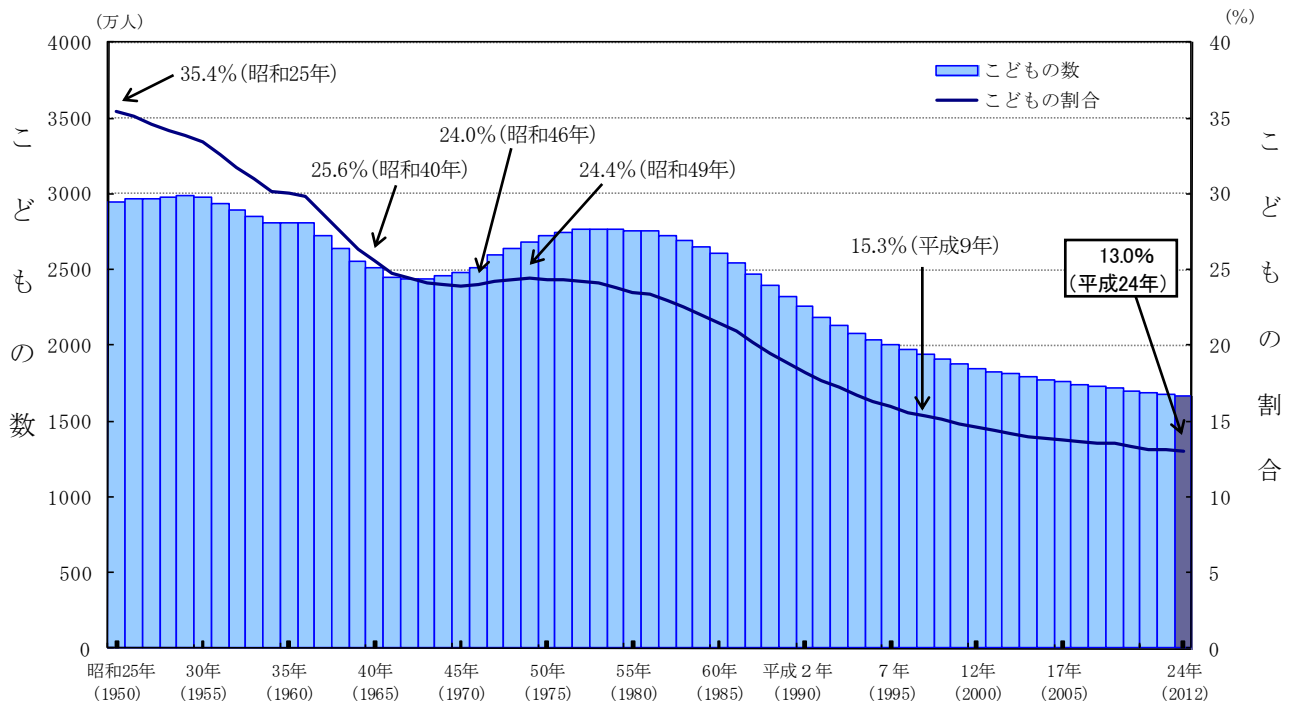
なお、こどもの割合は、昭和50年から38年連続して低下しています。

（図2、図3）



資料：「国勢調査」による人口及び「人口推計」による人口
注）平成23年及び24年は4月1日現在、その他は10月1日現在

図3 こどもの数及び総人口に占める割合の推移



資料：「国勢調査」による人口及び「人口推計」による人口
注）平成23年及び24年は4月1日現在、その他は10月1日現在

《都道府県》

Ⅱ-1 こどもの数は東京都及び福岡県では増加

都道府県別の平成23年10月1日現在におけるこどもの数をみると、前年に比べ増加しているのは東京都及び福岡県となっており、その他の道府県では同数又は減少となっています。(表3)

Ⅱ-2 こどもの割合は沖縄県が最も高く、秋田県及び東京都が最も低い

こどもの割合をみると、沖縄県が17.7%と最も高く、次いで滋賀県が14.9%、佐賀県が14.5%などとなっています。一方、秋田県及び東京都が11.3%と最も低く、次いで北海道が11.8%などとなっています。

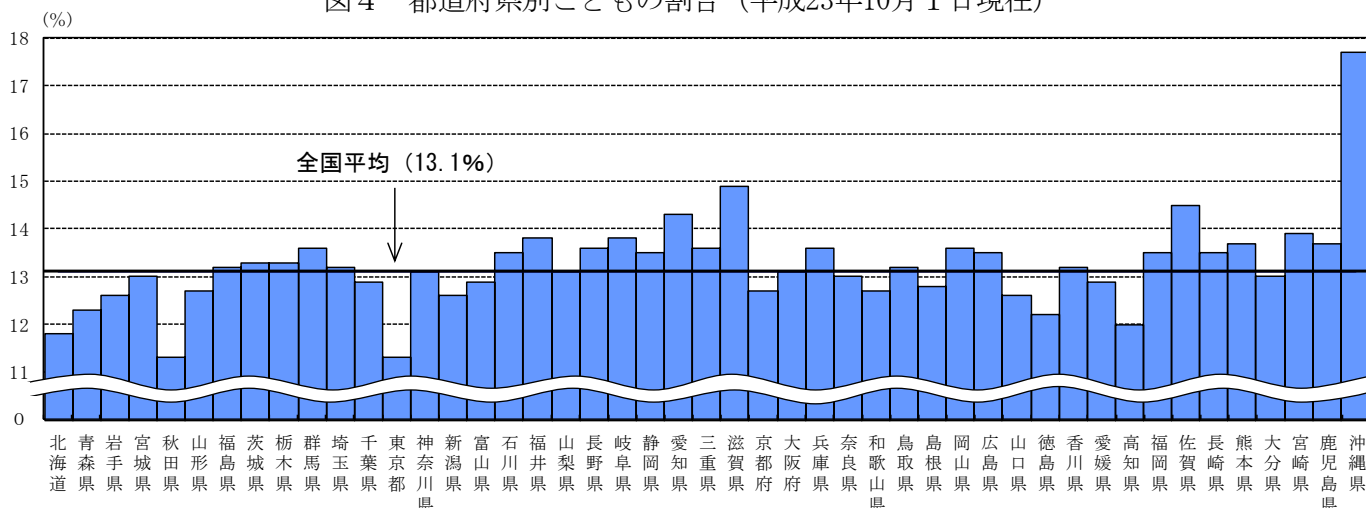
全国平均(13.1%)と比べると、25県が上回っており、3府県が同率で、19都道府県が下回っています。(表3、図4)

表3 都道府県別こどもの数及び割合(平成23年10月1日現在)

都道府県	平成23年			対前年差		都道府県	平成23年			対前年差	
	こどもの数(千人)	割合(%)	割合の高い順	数(千人)	割合(ポイント)		こどもの数(千人)	割合(%)	割合の高い順	数(千人)	割合(ポイント)
全 国	16,705	13.1	-	-134	0.0						
北海道	650	11.8	45	-7	-0.1	滋賀県	211	14.9	2	0	-0.1
青森県	168	12.3	42	-4	-0.2	京都府	333	12.7	36	-2	0.0
岩手県	165	12.6	39	-4	-0.1	大阪府	1,163	13.1	26	-9	-0.1
宮城県	303	13.0	29	-5	-0.1	兵庫県	757	13.6	10	-4	0.0
秋田県	121	11.3	46	-3	-0.1	奈良県	182	13.0	29	-2	-0.1
山形県	147	12.7	36	-3	-0.1	和歌山県	126	12.7	36	-2	-0.1
福島県	263	13.2	22	-13	-0.4	鳥取県	77	13.2	22	-1	-0.1
茨城県	394	13.3	20	-6	-0.2	島根県	91	12.8	35	-1	-0.1
栃木県	267	13.3	20	-3	-0.2	岡山県	263	13.6	10	-2	0.0
群馬県	272	13.6	10	-3	-0.1	広島県	386	13.5	15	-1	0.0
埼玉県	949	13.2	22	-6	-0.1	山口県	182	12.6	39	-2	-0.1
千葉県	801	12.9	32	-5	-0.1	徳島県	95	12.2	43	-2	-0.1
東京都	1,491	11.3	46	5	0.0	香川県	131	13.2	22	-1	-0.1
神奈川県	1,184	13.1	26	-6	0.0	愛媛県	184	12.9	32	-1	0.0
新潟県	297	12.6	39	-5	-0.1	高知県	91	12.0	44	-2	-0.1
富山県	140	12.9	32	-2	-0.1	福岡県	687	13.5	15	1	0.0
石川県	158	13.5	15	-1	-0.1	佐賀県	123	14.5	3	0	0.0
福山県	111	13.8	6	-1	-0.1	長崎県	191	13.5	15	-3	-0.1
山梨県	113	13.1	26	-2	-0.3	熊本県	249	13.7	8	-1	0.0
長野県	292	13.6	10	-4	-0.1	大宮崎県	155	13.0	29	-1	0.0
岐阜県	287	13.8	6	-3	-0.1	鹿児島県	157	13.9	5	-2	-0.1
静岡県	507	13.5	15	-5	-0.1	鹿児島県	232	13.7	8	-1	0.0
愛知県	1,063	14.3	4	-3	-0.1	沖縄県	247	17.7	1	0	0.0
三重県	251	13.6	10	-2	-0.1						

注) 割合 : 都道府県別人口に占めるこどもの割合
 割合の高い順 : こどもの割合の高い順
 対前年差 : 平成23年のこどもの数(割合) - 平成22年のこどもの数(割合)

図4 都道府県別こどもの割合(平成23年10月1日現在)



<参考>

参考表1 年齢3区分別人口及び割合の推移（各年10月1日現在）

年次	総人口 (万人)	0～14歳 (こどもの数)		15～64歳		65歳以上	
		人口(万人)	割合(%)	人口(万人)	割合(%)	人口(万人)	割合(%)
昭和25年(1950)	8320	2943	35.4	4966	59.7	411	4.9
30年(1955)	8928	2980	33.4	5473	61.3	475	5.3
35年(1960)	9342	2807	30.0	6000	64.2	535	5.7
40年(1965)	9827	2517	25.6	6693	68.1	618	6.3
45年(1970)	10372	2482	23.9	7157	69.0	733	7.1
50年(1975)	11194	2723	24.3	7584	67.7	887	7.9
55年(1980)	11706	2752	23.5	7888	67.4	1065	9.1
60年(1985)	12105	2604	21.5	8254	68.2	1247	10.3
平成2年(1990)	12361	2254	18.2	8614	69.7	1493	12.1
7年(1995)	12557	2003	16.0	8726	69.5	1828	14.6
12年(2000)	12693	1851	14.6	8638	68.1	2204	17.4
17年(2005)	12777	1759	13.8	8442	66.1	2576	20.2
22年(2010)	12806	1684	13.1	8173	63.8	2948	23.0
23年(2011)	12780	1671	13.1	8134	63.6	2975	23.3

資料：平成22年までは「国勢調査」による人口（年齢不詳をあん分して含めている。）
平成23年は「人口推計」による人口

参考表2 各国¹⁾におけるこどもの割合

国名	推計時点	総人口に 占めるこども の割合(%)	国名	推計時点	総人口に 占めるこども の割合(%)
日本 ²⁾	2012. 4. 1	13.0	イラン	2006.10.28	25.1
			トルコ ³⁾	2011.12.31	25.3
ドイツ ³⁾	2010.12.31	13.4	アルゼンチン	2009. 7. 1	25.3
イタリア ³⁾	2011. 1. 1	14.0	ブラジル	2009. 7. 1	26.0
ウクライナ ³⁾	2011.12.31	14.2	インドネシア	2009. 7. 1	27.0
ロシア	2009. 7. 1	15.0	メキシコ	2009. 7. 1	28.7
スペイン ³⁾	2012. 1. 1	15.2	コロンビア	2009. 7. 1	29.1
韓国 ³⁾	2010.11. 1	16.2	南アフリカ ³⁾	2011. 7. 1	31.3
中国 ³⁾	2011.12.31	16.5	エジプト	2009. 7. 1	31.7
イギリス ³⁾	2010. 7. 1	17.5	ミャンマー	2004. 7. 1	32.6
フランス ³⁾	2012. 1. 1	18.5	フィリピン	2008. 7. 1	33.9
アメリカ合衆国 ³⁾	2010. 7. 1	19.8	インド	2001. 3. 1	35.3
タイ	2009. 7. 1	21.0	バングラデシュ ³⁾	2008. 7. 1	37.4
ベトナム	2009. 4. 1	24.5	パキスタン	2007. 7. 1	41.6

資料：国連人口統計年鑑（2009-2010年版）

注1) 推計時点が2000年以降で人口4000万人以上の国

2) 人口推計—平成24年4月1日現在（概算値）

3) 各国統計機関のホームページに最新の数値がある場合には、最新の数値を掲載

e-Statですぐ・よくわかる!

統計情報データベースを使うと、人口ピラミッドなどのグラフも簡単に作れる!

統計GISを使うと、地図上に統計データを色分けして表示できる!

e-Statを使って日本と地域のすがたを調べてみよう!

「e-Stat」で検索してください!

..... 利用と問合せについて

- ◆ 「人口推計」の詳しい結果を御覧になる場合は、次の URL を参照ください。
<http://www.stat.go.jp/data/jinsui/index.htm>



- ◆ このトピックスは、次の URL から御覧になれます。
<http://www.stat.go.jp/data/jinsui/topics/topi590.htm>
- ◆ このトピックスに掲載されている解説文、図等の情報を引用・転載する場合には、出典の表記をお願いします。

(例) 「人口推計」(総務省統計局)

【問合せ先】

総務省統計局 統計調査部 国勢統計課 人口推計係

〒162-8668 東京都新宿区若松町 19 番 1 号

TEL : 03 (5273) 1009

FAX : 03 (5273) 1552

Eメール : c-sukei@soumu.go.jp